

テーマ：『 人と自然にやさしい環境づくり』

北九州市立 早鞆中学校

Tel. 093-321-3788 担当者： 蔵田 一秀



■実践内容：

本校の環境教育は、“一人一鉢”プランター花壇づくりの取組がベースになっています。これは、現在の新校舎へ移転後に校内が荒れたとき、プランターへのいたづらをきっかけとして生徒の思いをもとに開始した取組です。その思いを生徒会が毎年引き継ぎ、年々新たな取組へと発展させています。本年度は、一人一鉢校内花いっぱい活動、花咲くまちづくり活動、野菜の栽培・収穫活動、地域ふれあい清掃活動、校内クリーンアップ階段廊下ペンキ塗装活動に取り組みました。特に今年は、校区の小学校1年生を中学校に招いて本校第3学年生徒と合同で地域を飾るプランター作りを行ったり、保育園年長児を招いて文化研究部生徒とさつまいも収穫交流活動を行ったりしました。

■実践成果：

上記の活動を通して、生徒は、自分たちが行動を起こすことで学校が変わり、地域が変わることを実感しました。次の「自分たちにできること」にもつながっていくことに気付くこともできました。また、地域の人々や園児児童との交流を通して、その温かさや優しさに触れ、感謝の気持ちや責任感も高まりました。これからは早鞆中の生徒として、「心のつながりで咲いたたくさんの花を校内や地域に飾るとともに、学校やまちを美しく守る活動を続けていきたい」という願いや使命感が生まれています。

■実践ポイント：

活動の原点は「一人一人ができること」であり、「人と自然にやさしい環境づくり」への行動実践をテーマに掲げ取り組んでいます。そこで、花を枯らさないための世話も生徒自身の手で行うことにし、放課後に週2回、水遣り・摘心・追肥などの活動を全校生徒が交代で行っています。この取組を続けていることで、学校の玄関前ロータリー、中庭、階段はいつも花がいっぱいの心地よい空間が広がっています。また、自分たちで世話をした花壇だという思いから、学校への愛着も一層強くなり、花がいっぱいのきれいな学校を自慢に思う気持ちも増していきました。